

# 平成20年度 予算の概要

平成20年3月3日に開会した、第1回紋別市議会定例会において、平成20年度予算が可決されましたので、その概要についてお知らせいたします。

## 1 予算の概要

平成20年度予算は、一般会計と10の特別会計の合計額が、206億46万9千円と前年度に比較して、19億5,076万7千円の減となりました。減少の主な内容は、後期高齢者医療制度の創設により、75歳以上の高齢者の医療費（本人負担分を除く）を老人保健特別会計が支払っていたものが、北海道の全市町村が加入する広域連合によりその給付事務が行われることとなったことが要因です（詳細は後述）。

## 2 予算総括表

一般会計及び各特別会計の予算額は下記のとおりです。

(単位：千円)

会 計 別	平成20年度	平成19年度	比較	増減率	
<u>一 般 会 計</u>	14,792,784	14,504,439	288,345	2.0%	
特別 会 計	<u>国民健康保険事業会計</u>	2,838,914	2,924,946	-86,032	-2.9%
	<u>港湾埋立事業会計</u>	212,525	171,225	41,300	24.1%
	<u>簡易水道事業会計</u>	71,534	45,942	25,592	55.7%
	<u>交通災害共済事業会計</u>	34,569	32,340	2,229	6.9%
	<u>土地取得事業会計</u>	424,563	391,406	33,157	8.5%
	<u>老人保健事業会計</u>	293,139	2,930,632	-2,637,493	-90.0%
	<u>営農飲雑用水道事業会計</u>	34,154	34,773	-619	-1.8%
	<u>介護保険事業会計</u>	1,338,180	1,246,660	91,520	7.3%
	<u>介護老人福祉事業会計</u>	299,881	273,094	26,787	9.8%
	<u>後期高齢者医療事業会計</u>	264,447	-	264,447	皆増
	計	5,811,906	8,051,018	-2,239,112	-27.8%
<u>総 計</u>	20,604,690	22,555,457	-1,950,767	-8.6%	

※各会計目をクリックすると、それぞれの会計の歳入歳出事項別明細書がご覧になれます。

### 3 一般会計予算の内容

#### (1) 一般会計歳入

##### ① 市税

市民税については、市内経済の低迷や高齢化による納税義務者数の減少などにより、前年比6.1%減少しています。固定資産税においても、新築家屋の減少や古い家屋の滅失、地価の下落などの影響から3.6%の減少となっています。軽自動車税については、四輪自家用乗用車の登録が伸びるとの見込みから、1.6%の増額となっています。市たばこ税においては、生活習慣を見直す意識が高揚するなかで、禁煙する人が増加するとの判断から、2.3%の減少を見込みました。都市計画税についても、固定資産税と連動することから2.4%の減少を見込んでいます。入湯税については、前年実績の伸びから5.4%増加しています。

市税収入の内訳 (単位：千円)

	H20	H19	比較	増減率
市民税個人	1,047,605	1,115,390	-67,785	-6.1%
市民税法人	242,832	245,475	-2,643	-1.1%
固定資産税	1,059,569	1,099,515	-39,946	-3.6%
軽自動車税	41,724	41,068	656	1.6%
市たばこ税	252,729	258,733	-6,004	-2.3%
都市計画税	178,012	182,389	-4,377	-2.4%
入湯税	1,832	1,729	103	6.0%
合計	2,824,303	2,944,299	-119,996	-4.1%

##### ② 地方交付税等

国や北海道に一旦収入され、市町村に配分される、地方譲与税・利子割交付金・配当割交付金・株式譲渡所得割交付金・地方消費税交付金・自動車取得税交付金につきましては、平成19年度収入見込みに国の増減見込み率を乗じて算出しました。

所得税や法人税、酒税など国税の一定割合を地方に配分する地方交付税につきましては、国の予算が7年ぶりの増加となりました。地方の格差是正策として、地方再生対策費が、新たに算定要素として加わったことによるものです。

平成20年度の紋別市における地方交付税の収入見込みについては、普通

交付税が53億2千万円（H19収入済額 52億0,013万円）で、2.3%の増、予算での比較（H19予算額 50億5,000万円）では5.3%の増となっております。

また、地方交付税総額の6%相当する額が全国一律に算定できない特別な経費（例えば、除雪費など）として、特別交付税として配分されます。紋別市の配分額は、前年同様8億円と見込んでおります。

地方交付税等の内訳 (単位：千円)

	H20予算額	H19予算額	比較	増減率
地方譲与税	247,441	251,983	5,458	2.3%
自動車重量譲与税	182,764	181,927	837	0.5%
特別とん譲与税	822	989	-167	-16.9%
航空機燃料税	1,623	1,799	-176	-9.8%
地方道路譲与税	62,232	67,268	-5,036	-7.5%
利子割交付金	15,875	11,053	4,822	43.6%
配当割交付金	10,833	7,002	3,831	54.7%
株式等譲渡所得割交付金	5,290	9,127	-3,837	-42.0%
地方消費税交付金	293,556	319,675	-26,119	-8.2%
ゴルフ場利用税交付金	4,350	5,082	-732	-14.4%
自動車取得税交付金	64,375	79,107	-14,732	-18.6%
地方特例交付金	24,185	21,011	3,174	15.1%
地方特例交付金	19,373	6,858	12,515	182.5%
特別交付金	4,812	14,153	-9,341	-66.0%
地方交付税	6,120,000	5,850,000	270,000	4.6%
普通交付税	5,320,000	5,050,000	270,000	5.3%
特別交付税	800,000	800,000	0	0.0%
交通安全対策特別交付金	5,551	6,956	-1,405	-20.2%

③ 分担金及び負担金

市が特定の事業に要する経費に充てるために、その事業によって利益を受けるものに対し、その受益を限度として徴収するもので、老人ホーム入所者や保育所の保護者に対する負担金などがあります。平成20年度予算は、3億0,525万2千円で前年予算（2億8,046万円）に比べ、2,479万2千円（8.8%）の増となっております。増加の主な要因は、農地改良事業の受益者負担金です。

#### ④ 使用料及び手数料

使用料は公共施設などの利用の対価として徴収するもので、市営住宅の家賃、市民会館使用料などがあります。手数料は市が特定のものに提供するサービスの対価として徴収するもので、し尿処理手数料、住民票の写しや印鑑登録証明の発行手数料などがあります。

平成20年度は、3億8,884万円で前年予算(3億5,130万円)に比べ、3,754万円(10.7%)の増となっています。

#### ⑤ 国・道支出金

国や北海道が行うべき事業を市へ委託する場合や、市が行う事業に対して一定の割合で国や北海道が補助する場合に交付されるもので、

- 法によって国(道)に負担する義務のある国庫(道)負担金(生活保護費負担金など)

- 奨励的、財政的援助的な国庫(道)補助金(障害者自立支援事業補助金など)

- 本来、国(道)が行うべき事務を地方公共団体へ委託する場合の国庫(道)委託金(国会議員選挙費や知事・道議選挙経費など)に分類されます。

平成20年度の国庫支出金は、10億7,584万2千円で前年予算(12億4,016万4千円)に比べ、1億6,432万2千円(13.3%)の減となっています。減少の主な要因としては、緑公営住宅の事業完了による国庫補助金の減(1億7,111万8千円)によるものです。

また、道支出金は7億1,326万9千円で前年予算(6億9,658万7千円)に比べ、1,668万2千円(2.4%)の増となっています。増加の主な要因としては、漁業協同組合が建設する市場に対する、市を經由して北海道が交付する補助金1億5,438万9千円の増によるものです。

## ⑥ 繰入金

市の基金(貯金)の取り崩しや他の会計からの繰入金です。平成20年度は、7億5,775万5千円を予定しております。主な基金の平成20年度中の増減は下記のとおりです。

市基金の増減内訳

	H19 末現在高	H20		
		積立	取り崩し	末現在高
財政調整基金	393,806	7,230	220,000	181,036
減債基金 ※1	1,441,346	136,777	363,995	1,214,128
名寄線代替輸送確保基金	130,688	661	14,305	117,044
渚滑線代替輸送確保基金	299,953	1,521	13,232	288,242
国際交流基金	53,068	267	818	52,517
社会福祉基金	53,197	330	6,706	46,821
地域福祉基金 ※2	256,971	3,550	133,550	126,971
その他特定目的基金	11,470	121	0	11,591
合計	2,640,499	150,457	752,606	2,038,350

※1 減債基金繰入金の内、2億7,923万円については、補償金免除繰上償還にかかる繰入金であり、繰上償還に要した元利は後年度にわたり積み戻しを行います。

※2 地域福祉基金の取り崩し額の内、1億3千万円は、一般会計への貸付金で平成25年度までに償還します。

## ⑦ 市債

道路や学校など、公共施設建設の事業資金を外部から調達するために負担する債務で、その返済が一会計年度を越えて行われるもので、いわゆる市の借金です。市債は、資金調達の役割のほか、長期にわたり返還していくことで、施設建設時の納税者だけでなく、後年度においても施設を利用する納税者に負担してもらい、世代間負担の公平性という役割も担っています。

また、市債の多くが、元利償還金の一定割合が地方交付税に算定されており、市債残高が全て市民の皆さんの負担となるわけではありません。

平成20年度は15億3,210万円で、前年予算(13億8,130万円)に比べ、1億5,080万円(10.9%)の増となりました。このうち、2億9千万円が、臨時財政対策債で、後年度の元利償還金の100%が交付税措置され、約9億円については、過疎対策事業債で、同様に7割が地方交付税措置される有利な市債を発行する予定です。地方債の発行区分や現在高については、こちらをご覧ください。[※地方債に関する調べ](#) (←をクリック)

## (2) 一般会計歳出

歳出の目的に沿って大別した分類（款という区分が使われています）で、予算額と主な新規事業について説明します。

### ① 議会費

議会費は、市議会議員の報酬のほか、市議会を運営するための経費で、1億6,013万2千円を計上しました。前年（1億5,634万6千円）と比較すると、378万6千円（2.4%）の増となっています。

### ② 総務費

総務費は、一般的な行政経費のほか、市税徴税费・選挙費などの経費で、7億0,719万4千円を計上しました。前年（6億9,727万5千円）と比較すると、991万9千円（1.4%）の増となっています。

総務費の主要新規事業については、つぎのとおりです。

#### ○庁舎設備改修事業（462万7千円）

市庁舎と消防庁舎をつなぐ、2階渡り廊下の改修などを行います。

#### ○総合行政ネットワーク機器更新事業（43万6千円・債務負担行為）

国や北海道、他の市町村とネットワークを開設しておりますが、その機器の耐用年数経過に伴う機器更新で、5年間の年賦（総額516万5千円）で購入するものです。

### ③ 民生費

民生費は、福祉・医療・年金・介護などの経費で、30億3,613万9千円を計上しました。前年（29億0,306万8千円）と比較すると、1億3,307万1千円（4.6%）の増となっています。主な増加要因は、老人福祉費における後期高齢者医療事業特別会計への繰出金が7,050万円の増などです。新規事業の概要は、つぎのとおりです。

#### ○障害者自立支援対策推進事業（221万6千円）

オホーツク交流センター（バスターミナル）の障害者用トイレにオストメイト・トイレ（病気により人工肛門や人工膀胱となられた方の、尿や便の処理を容易にできる機能を持ったトイレ）を整備するほか、市庁舎窓口等に視覚障害者用活字読み上げ装置の整備、障害児施設への備品購入などを道の補助を受けて実施します。

#### ○障害者相談支援対策事業（251万4千円）

障害者の地域における自立した日常生活を支援するために、障害者の方が抱える様々な課題について24時間態勢で相談に応じるための事業です。相談は、道指定業者である「紋別市社会福祉協議会」と「紋別市百年記念福祉会」が受託する予定です。

#### ○高齢者等交通費助成事業（3,280万円）

70歳以上の高齢者に対し通院のバス代、75歳以上の方には、社会参加のバス代助成（年72回）を行っています。平成20年9月末までは、今までどおりですが、10月から、70歳以上の高齢者を対象に、百円の負担で回数制限なしでバス乗車ができる制度へ変更します。

### ④ 衛生費

保健医療や保健予防、環境衛生やごみ処理の経費で、4億2,753万2千円を計上しました。前年（3億6,252万2千円）と比較すると6,501万円（4.6%）の増となっています。主な増加の要因は、市立上渚滑診療所の運営形態の変更や一般廃棄物処理施設を新たに整備するための手法を調査する業務委託経費などです。

#### ○妊婦健康診査事業（493万5千円）

妊娠されている方の健診の3回分（35歳以上の方には超音波検査費用を追加）を助成していましたが、平成20年度から、全ての方に健診5回分と超音波検査1回分の費用を助成することとしました。

#### ○特定不妊治療費助成（50万円）

不妊治療は、医療保険が使えず自己負担が多額であることから、北海道が実施している特定不妊治療費助成（1回10万円の年2回を限度）を受けられる方へ、市も上乗せ助成（1回5万円の年2回を限度）するものです。

#### ○公共施設福祉対応改修事業（紋別葬苑トイレ改修事業・210万円）

高齢者や車いすの方にも利用し易いよう、紋別葬苑（火葬場）のトイレを、改修します。

#### ○上渚滑診療所改築事業（404万1千円）

市立上渚滑診療所の老朽化に伴い、上渚滑町民センター近くの市有地に移転改築するための実施設計費用です。

## ⑤ 労働費

労政事務や雇用開発、Uターン促進事業などに関する経費で、2,468万1千円を計上しました。前年(2,390万4千円)と比較すると、77万7千円(3.3%)の増となりました。

## ⑥ 農林水産業費

市の基幹産業である農林水産業に関する経費で、8億9,110万4千円を計上しました。前年度(6億7,484万7千円)と比較すると、2億1,625万7千円(32%)の増となっています。主な新規事業は、つぎのとおりです。

### ○公共施設福祉対応改修事業(小向生活改善センター・294万7千円)

小向生活改善センターを高齢者や身体の不自由な方にも利用しやすくするため、トイレの洋式化や手すり設置、段差解消などを実施します。

### ○営農用水道施設整備事業(5,954万円)

興部方面へ向かう国道にかかる渚滑橋の架け替え工事が、北海道開発局により進んでいます。この橋には、川向地区に給水している水道管が添架されています。橋の架け替えに伴い、水道管を新しい橋に添架するための経費(4,860万円)のほか、営農用水施設設備の更新経費です。

### ○流通等改善施設整備事業(2億1,012万8千円)

漁業協同組合が建設する水産物荷捌き施設(市場)に対する、補助金で、内訳は、北海道の補助金(市の経理を経由して支出されます)1億2,591万4千円に、市が8,340万円を上乗せして補助するものほかです。

## ⑦ 商工費

商工、観光、公共交通などに関する経費で、3億8,834万7千円を計上しました。前年(3億6,286万8千円)と比較すると、2,547万9千円(7%)の増となっています。主な新規事業はつぎのとおりです。

### ○公共施設福祉対応改修事業・大山山頂園レストハウス(165万9千円)

大山山頂園レストハウスのトイレを高齢者や障害者の方にも使いやすくするための改修を行います。

#### ○公共交通体系検討事業補助金（４９９万５千円）

市内バス路線の維持及び利用促進を図るための、バス事業者などや関係行政機関で構成する地域公共交通活性化協議会に対する補助金です。協議会では、国と市の補助金を活用して、新たな路線体系などについて検討するほか、市内循環バスの実証運行などを行います。

### ⑧ 土木費

道路や河川、港湾、公園、公営住宅などにかかる経費で、２１億１，４７１万１千円を計上しました。前年（２５億７，３７７万２千円）と比較すると、４億５，９０６万１千円（１７．８％）の減となっています。主な減額の要因は、緑公営住宅建設事業の完了に伴う事業費が約４億８，４００万円の減となっていることが原因です。主な新規事業はつぎのとおりです。

#### ○潮見第８号線改良舗装事業（４，１８０万円）

旧ＪＲ潮見乗降所から平岡病院横までの線路跡地に道路を建設します。平成２０年度は、延長６５６ｍのうち２００ｍを建設し、平成２２年に完成予定です。

#### ○山の上線交差点改良事業（１，１００万円）

渚滑町２丁目の国道から渚滑市街へ通じる、市道山の上線の交差点（パチンコ店横）が、危険であることから事故防止の改良を行います。

#### ○海岸保全事業（５，２００万円）

真砂町から北浜町の無護岸地区（約２５０ｍ）について、海岸浸食が著しいことから、護岸建設に着手します。本年度は、実施設計のほか護岸２５ｍを建設します。

#### ○市営住宅建設事業（３，９００万円）

平成１９年度から着手している、市営大山団地建設事業につきましては、本年度は、４０戸分の実施設計、既存住宅４０戸の解体及び用地造成を行います。

### ⑨ 消防費

消防及び救急に関する経費で、紋別地区消防組合に対し、負担金として５億６，７８４万６千円を計上しました。前年度（４億３，１７２万８千円）と比較すると、１億３，６１１万８千円、３１．５％の増となりました。新規事業は、つぎのとおりです。

#### ○消防自動車更新事業（2,081万1千円）

元紋別地区の消防分団のポンプ車を更新する事業です。

#### ○消火栓整備事業（2,364千円）

消火栓未整備地区の大山町2丁目及び渚滑町元新3丁目に消火栓を新設します。

### ⑩ 教育費

小中学校の管理運営経費や社会教育、体育振興などの経費で、10億0,305万2千円を計上しました。前年度（8億6,038万2千円）に比較すると、1億4,267万円、16.6%の増となっています。増額の要因は、施設改修などの事業増です。

#### ○潮見小学校施設改修事業（5,071万5千円）

雨が降ると数日間利用できなく学校行事に支障が出ていたグラウンドを水はけが良くなるよう改修するほか、校舎暖房及び給湯の配管の老朽が著しいことから、これの改修を行います。

#### ○市民講座用パソコン更新事業（183万4千円）

市民講座やことぶき大学などのパソコン教室で使用されているパソコンについて、OS（パソコンを動かす基本ソフト）が古く、学習効果が薄れていることから、パソコンを最新のOSが搭載されたものに更新します。

#### ○図書館システム更新事業（112万5千円・債務負担行為）

図書館貸出システムの更新です。更新によりインターネットを利用し自宅から蔵書検索や貸出状況、簡単な内容紹介、さらに予約が可能となり、利便性が向上します。5年の年賦で償還します（総額1,260万円）。

#### ○スポーツセンター改修事業（1億2,908万4千円）

スポーツセンターの屋根改修及び耐震化、バリアフリー改修を行います。工事は、本年度と平成21年度に分けて行います。工事期間中は、アリーナ等を利用できない（アリーナは10月から3月を予定）こととなり市民の皆さんにはご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

### ⑪ 災害復旧費

大雨などの災害により被災した河川や道路などの復旧経費や災害予防の経費です。平成19年度は災害がなかったことから、災害対策経費328万5千円を計上しました。内容は、渚滑古川の増水対策として、排水ポンプのホースの購入経費などです。

### ⑫ 公債費

道路や学校などの公共施設を建設する際に資金調達と世代間の公平な負担を実現するために市債を発行します。その市債の償還を行う科目が公債費で、33億3,277万6千円を計上しました。前年(32億2,621万1千円)に比べ、1億0,656万5千円、3.3%の増となりました。このうち、20億7,000万円程度が、地方交付税の基準財政需要額に算入される見込みです。増加の要因は、公的資金の補償金免除繰上償還の実施に伴う元金の増で、2億7,923万8千円となっています。

### ⑬ 給与費

特別職(市長・副市長)及び一般職(244人)の給与費で、21億1,098万5千円を計上しました。前年(21億6,967万7千円)に比べ、5,869万2千円、2.7%の減となっています。一般職の人数では、5名の減となっています。

※各会計の給与費の詳細については、[給与費明細書](#)をご覧ください。

※新規事業を含む、事業概要につきましては、[一般会計主要施策に関する調](#)をご覧ください。

※歳出予算の性質別分類については、[一般会計性質別経費内訳調](#)をご覧ください。

### (3) 特別会計

市が特定の事業を実施する場合、特定の収入をもってその経費とし、一般会計と区分して経理する必要がある場合に、議会の議決を得たうえで、特別会計を設置します。

平成20年度の特別会計予算につきましては、下水道事業特別会計が公営企業会計に移行したことのほか、後期高齢者医療事業特別会計が新設されています。各特別会計の予算の内容は下記のとおりです。

#### ① 国民健康保険事業特別会計

社会保険などの被用者保険の被保険者や75歳以上の後期高齢者医療制度の被保険者を除く全ての市民が加入する医療保険が、市長が保険者となって運営する国民健康保険です。

加入者の皆さんに納めていただく保険税のほか、国・道・市の負担金や補助金で運営しています。

平成20年度予算は、前年度予算（29億2,494万6千円）に比べ、2.9%減の28億3,891万4千円を計上しました。減少の要因は、75歳以上の被保険者が、後期高齢者医療制度に移行したことなどにより減少したものです。詳細については、下記のリンクをご覧ください。

[※国民健康保険事業特別会計事項別明細](#)

#### ② 港湾埋立事業特別会計

紋別港の埋め立て地の造成を行い、その費用を用地売上代金や港湾施設使用料で賄う会計です。現在、景気低迷により、紋別市における民間企業の投資意欲は低下しており、当初シミュレーション通りの売却が進んでおらず、埋立費用を市債で調達していることから、市債償還の累増により赤字が増加している状況です。

平成20年度予算は、前年度予算（1億7,122万5千円）に比べ、24.1%の増の2億1,252万5千円を計上しました。増加の要因は、繰上充用金（前年度までの歳入不足を補てんするために、翌年度の歳入を繰り上げて使用するもので、赤字決算の翌年度に同額が歳出として計上されます。）の増によるものです。詳細については、下記のリンクをご覧ください。

[※港湾埋立事業特別会計事項別明細書](#)

#### ③ 簡易水道事業特別会計

上渚滑地区・小向地区・沼の上地区については、市街地から離れていること

から、水道については、それぞれの地区で水源を確保し浄水した後、配水しており、その運営のための会計です。

平成20年度予算は、前年度予算（4,594万2千円）に比べ、55.7%の増の7,153万4千円を計上しました。増加の要因は、公債費のうち、高金利の市債を補償金免除で繰上償還できる制度により、元金返済が増加したことによるものです。これにより支払利息が軽減されます。

詳細については、下記のリンクをご覧ください。

[※簡易水道事業特別会計事項別明細書](#)

#### ④ 交通災害共済事業特別会計

市民の皆さんに加入していただいている交通災害共済を運営している会計です。平成20年度予算は、前年度予算（3,234万円）に比べ、6.9%の増の3,456万9千円を計上しました。増加の要因は、共済見舞金の支払基準を加入者に有利となるように見直したほか、加入促進を図るため、町内会の取扱手数料を増額したことによるものです。詳細については、下記のリンクをご覧ください。

[※交通災害共済事業特別会計事項別明細書](#)

#### ⑤ 土地取得事業特別会計

公共事業用地を先行して買うことを目的とする会計です。この会計では、基金（土地開発基金）を活用して公共事業用地を購入し、その用地を取得した会計が後年度、分割により基金に返済する仕組みとなっています。土地開発基金残高とその年に見込まれる収入を予算計上しており、全額を支消するわけではありません。

平成20年度予算は、前年度予算（3億9,140万6千円）に比べ、8.7%の増の4億2,456万3千円を計上しました。増加の要因は、昨年度の用地購入代金が、基金への返済額を下回ったことによる、基金残高の増によるものです。詳細については、下記のリンクをご覧ください。

[※土地取得事業特別会計事項別明細書](#)

#### ⑥ 老人保健事業特別会計

75歳以上の高齢者の方の医療費は、国保や社会保険などの医療保険に加入し、保険料等を支払いながら、医療の給付は市町村の老人保健会計が支払う仕組みでした。老人保健会計で支払う医療費は、国・道・市が5割を負担し、残りを医療保険の各保険者の拠出により賄っていました。

今般の医療制度改革により、高齢者の独立した保険として後期高齢者医療制

度が創設されたことにより、本年度の予算計上額は、平成20年3月診療分の医療費と月遅れの請求分などを計上しています。

平成20年度予算は、上記理由により、前年度予算（29億3,063万2千円）に比べ、90%減の2億9,313万9千を計上しました。この会計は法律により、平成22年3月末日まで設置する予定です。詳細については、下記のリンクをご覧ください。

[※老人保健事業特別会計事項別明細書](#)

#### ⑦ 営農飲雑用水道事業特別会計

宇津々地区や藻別地区など上水道や簡易水道が未整備な小規模の集落には、それぞれの地区で水源を確保して浄水を行い、営農用水や飲料水として配水しており、その運営のための会計です。

平成20年度予算は、前年度予算（3,477万3千円）に比べ、1.8%減の3,415万3千円を計上しました。詳細については、下記のリンクをご覧ください。

[※営農飲雑用水道事業特別会計事項別明細書](#)

#### ⑧ 介護保険事業特別会計

平成12年4月に開始した介護保険は40歳以上の方が加入し、65歳（特定の疾病が原因で介護が必要になった方は、40歳）以上の方が、介護が必要になった際に、介護費の9割を給付するものです。介護費の財源は、国・道・市の負担が約5割、残りを40歳から64歳までの方が、医療保険に支払う第2号保険料（支払基金交付金）と65歳以上の方が年金から天引きされる第1号保険料で賄われます。

平成20年度予算は、前年度予算（12億4,666万円）に比べ、7.3%増の13億3,818万円を計上しました。詳細については、下記のリンクをご覧ください。

[※介護保険事業特別会計事項別明細書](#)

#### ⑨ 介護老人福祉事業特別会計

特別養護老人ホーム「安養園」の管理運営経費です。「安養園」では、施設介護のほか、短期入所やデイサービスなどの事業を行い、介護保険報酬と利用者負担金、市からの繰入金等で運営しています。平成21年からは、民間事業者に施設を譲渡して、その引受事業者が運営を行う予定です。

平成20年度予算は、前年度予算（2億7,309万4千円）に比べ、9.8%増の2億9,988万1千円を計上しました。詳細については、下記のリ

リンクをご覧ください。

[※介護老人福祉事業特別会計事項別明細書](#)

#### ⑩ 後期高齢者医療事業特別会計

医療制度改革により、75歳以上の高齢者の方は、独立した医療保険であり、北海道の全ての市町村が共同で運営する北海道後期高齢者医療広域連合が運営する後期高齢者医療制度に加入することとなりました。この会計は、後期高齢者の方からいただく保険料及びその徴収経費や集めた保険料を広域連合に納付するための会計です。

平成20年度予算は、2億6,444万7千円を計上しました。詳細については、下記のリンクをご覧ください。

[※後期高齢者医療事業特別会計事項別明細書](#)